

原 望 氏（電磁機能流動研究分野 M1）が  
日本混相流学会 ベストプレゼンテーションアワード」を受賞  
（2018年8月9日）

原 望 氏（電磁機能流動研究分野 M1）が2018年8月8-10日に仙台市にて開催された日本混相流学会主催の混相流シンポジウム 2018 おいて「日本混相流学会 ベストプレゼンテーションアワード」を受賞しました。同賞は、シンポジウムにおいてフラッシュトークおよびポスター発表において審査され、優秀な講演発表を行った発表者に授与されるものです。

受賞題目：「イオン液体静電噴霧による二酸化炭素分離吸収の高性能化に向けた実験的研究」

著者：原 望<sup>1</sup>， 山本和輝<sup>1</sup>， 高奈秀匡<sup>2</sup>， 牧野貴至<sup>3</sup>， 金久保光央<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 東北大学 大学院工学研究科

<sup>2</sup> 東北大学 流体科学研究所

<sup>3</sup> 産業総合技術研究所



問い合わせ先

東北大学 流体科学研究所 電磁機能流動研究分野

准教授 高奈秀匡, Tel: 022-217-5223, Email: takana@tohoku.ac.jp